



さあ2学期です

校長 戸村達男

8月30日、2学期始業式。学校に、子どもたちの明るい笑顔と無邪気な笑い声が戻ってきました。子どもたちの成長は著しいので、41日の間には、背がぐんと伸びた子もいるでしょう。いろいろな経験を積んで心がちょっぴりたくましくなった子もいると思います。

心身ともに成長した子どもたちとともに、2学期も充実した教育活動を進めてまいります。2学期も本校の教育活動にご協力をお願いいたします。

夏休みと言えば宿題・・・

夏休みに入る前の1学期終業式の日、3年生の子どもたちと帰りがけの昇降口で会いました。「楽しい夏休みを過ごしてね。」と声を掛けたら、「はい。」という元気な返事の後、「宿題さえなければ、いい夏休みなんだけどなあ。」「校長先生、宿題なくしてー。」と、一斉口撃(!?)を受けてしまいました。

私が子どもの頃というともう半世紀くらい前ですが、その頃の夏休みの宿題と言えば、夏休みのドリルに毎日の日記、読書感想文、絵を1枚、自由研究と、まあ盛りだくさん。

今は漢字練習と計算問題を少々、それに何か好きな課題や研究を1つ。ずいぶん少なくなっていると思うのですが・・・でも子どもたちからしたら、やっぱり宿題はない方がいいに決まっていますよね。

夏休みだけでなく、毎日の学校生活でも宿題を出しているわけですが、何のために宿題を出しているかという、ねらいは大きく2つ。「学習内容の定着」と「学習習慣の定着」です。そしてどちらかという「学習習慣の定着」の方が、ねらいとしては重きを置いています。

学校では、学級担任が、あいさつや返事、持ち物の準備、整理整頓、係・当番活動での自主性など、勉強以外にもいろいろなことを指導させていただいています。それは、こうしたことがしっかりできる方が、きっと“よりよく生きる”ことにつながるだろう、と考えるからです。今を生きている子どもたちにとっては余計なお世話かもしれませんが、子どもたちが将来、自立した一人の人間としてよりよく生きていくために、と願い、指導をさせていただいています。

宿題も同様です。現在学習している「学習内容の定着」はもちろん大事。そして将来に向けた「学習習慣の定着」も大切です。

低学年のうちには「机に座って勉強する習慣」を身につけてほしいので、毎日ドリル形式の宿題を出しています。習慣化は子どもたちだけでは難しいので、まる付けなどを保護者の皆様をお願いしています。

高学年になると、「自分にとって必要な学習を自分で判断する力」を身につけてもらうために、

“家庭学習”という形の、何を勉強するかを自分で考える課題に徐々に移行していきます。

そして中学校以降は、毎日の予習復習や定期テスト対策など、自ら学ぶ力がさらに必要になることは、保護者の皆様もよくご存じのことと思います。

「校長先生、宿題なくしてー。」と言った子も、頭ではちゃんと宿題の意義や重要性をわかってくれていることを信じて、私たちは今後も「学習内容の定着」と「学習習慣の定着」に向け、宿題や家庭学習の取り組みを続けてまいります。ご家庭でのご協力、よろしくお願いいたします。

2学期からの学級担任・教科担当の変更について

AED の設置について

体育館前に、2台目のAEDが設置されました。

体育館を使用する体育等の授業、ほうかごところ、学童クラブなど、本校の子どもたちの万が一に備えるとともに、学校開放や地域住民の方々にも使用していただくことを（市教委が）想定しての設置です。

ですからカギはかかっていません。万が一の際には遠慮なくご使用ください。（AEDが入っているBOXを開けると、大きな警告ブザーが鳴り響きます。）

